

専務取締役 赤石恒一が、保健学博士号を取得。 直営店のコンサルテーションでお客様の悩みを解決。

AKAISHIはこの度、当社専務取締役の赤石恒一が、人間の健康と靴の構造に関する研究が認められ博士号（保健学）を取得したことをお知らせします。

赤石恒一は、2008年に(株)AKAISHIに入社後、靴医学の専門性を当社直営店のお客様サービスに役立てるため、靴医学の権威、新潟医療福祉大学大学院の阿部教授に師事、以来5年の研究活動の成果としてこの度の博士号取得となりました。

AKAISHIは、これまで「靴が人間にとってどうあるべきなのか」をテーマに靴医学の研究を、商品開発に活かしてまいりましたが、昨年2014年からは、直営店である「AKAISHI Lab/アカイシ ラボ」にて、足や靴で悩む方へのコンサルテーションとしても役立てております。今後は赤石恒一を中心に、さらに専門的なアドバイスや足の健康指導に注力していきます。

<赤石恒一のコメント>

足の形は千差万別で、誰にでも合う靴は世の中に存在しません。足に合わなければ購入できないのが普通なのです。しかし私は、靴とは履きたい人が履けるようにすべきであると考えています。ですから、お客様がほしい商品であれば、出来る限り足に合わせられるようAKAISHIではフィッティングサービスを行っています。しかし、まだ十分な満足を得ることはできていません。今後は、研究成果を活かし商品の機能向上やフィッティング・調整の内容のバリエーションを増やし、どのような足のお悩みを持つお客様でも、足に合うまで我々が対応できるようにしていきます。

